

港区を、もっと知って面白く。タノシムマガジン。

ムーチャ

Mu-Cha

ご自由にお取り下さい
¥0

volume.46

2015.1

[港区版]

ジャジャジャジャーン♪

1

January

クラシックは
お好きですか?



ムーチャ的クラシックのススメ

関西フィルハーモニー管弦楽団

ご紹介します! 港区から世界へ、音楽を届けている関西フィルのみなさんです♪

チューバ担当 吉野竜城(51歳)

横浜生まれ横浜育ちなので、海がある港区は好きです。家庭菜園で野菜やハーブを育てる可愛い一面もあり♪楽器の改造・開発にはまり、もうすぐ製品化もされるんだとか。

特定非営利活動法人
関西フィルハーモニー管弦楽団
大阪市港区弁天 1-2-4-700
ORC200・2 番街西館 7 階
06-6577-1381
<http://www.kansaiphil.jp/>
公式ブログ: <http://blog.livedoor.jp/kansaiphil/>

の感動を一緒に感じることでできるのがオーケストラの魅力。他では決して味わうことのできない聴衆と心通い合う「心のこもった音楽」を届けるオーケストラ、それが「関西フィルハーモニー管弦楽団」です。明るく気取らず関西っぽい、そんな「関西フィル」の素顔を、まるごとご紹介! 敷居が高く感じるクラシックも、関西フィルを知ればきっと身近に感じられるはず♪

ホルンって形が可愛いでしょ♪

ステキな音楽をお届けします

2

3

見かけたら声をかけて下さいね!

4

ホルン担当 永武靖子(33歳)

ひとりで練習するピアノより、みんなで演奏するオーケストラがやりたいと、金管楽器で一番難しいといわれる「ホルン」に中学から挑戦。最近は関ジャニにもはまってマス。

チェロ担当 日野俊介(53歳)

神戸出身、京都在住。いつもチェロを背中に担いで移動してるので、体力には自信ありなんです。親しみやすさとサービス精神旺盛な関西フィルは最高♪ 日野ファン多し!

フルート・ピッコロ担当 虎谷朋子(58歳)

ニックネームは「とらこ」。音楽っておもしろい! と感じてくれる若い人達を育てたいと、オーケストラの仕事の傍ら、小・中学生のワークショップや、フルートの講師も務める。

モニー管弦楽団

届けている関西フィルのみなさんです♪

8

オーボエ担当 佛田明希子(39歳)

父の影響で10歳からオーボエを始め、大阪音楽大学卒業後渡独。趣味は美味しいものを食べる。オーボエはオーケストラのチューニング開始音。コンサートが始まる合図なんです。

皆さん、「関西フィルハーモニー管弦楽団」というオーケストラをご存知ですか? 名前なら知ってる! という人も多いのでは? 実はその活動拠点が、弁天町なんです。

1970年にヴィエール室内合奏団として誕生し、2003年からは特定非営利活動法人として、指揮者とオーケストラの持ち味が融合した個性的な取り組みと演奏で日々活動を展開中です。事務所をORC200・7階に、

例えば、6階のオークホールでは、練習や演奏会なども行われ、聴衆との交流も大切になっています。何十人もの音楽家たちが心を一つにして作品に向き合い、音楽を奏でることで、沢山のみなさんと

ホームページもチェックしてね♪

5

ヴァイオリン担当 友永健二(45歳)

大阪生まれ千葉育ち。9歳の時、転校先の小学校に、毎年全国優勝する管弦楽クラブがあり、ヴァイオリンと出会う。中国語も操る、関西フィルの頼れる兄貴的存在。

クラリネット担当 吉田悠人(28歳)

3歳からピアノ、12歳より兄に憧れてクラリネットを始める。好物は茶碗蒸し、愛犬の柴犬「らく」を愛する関西フィルの貴公子。「ウインドクインテットソリノテ」のメンバーとしても活躍中!

トランペット担当 白水大介(38歳)

趣味はサッカー、フットサル観戦。オーケストラは、歴史上最も古く変わらないスタイルを持ち、多人数で創り上げる贅沢な生の芸術。ぜひ会場で同じ空気を味わいましょう。

コンサートマスター、ギオルギ・バプアゼさんとヴァイオリン、友永健二さんのチョイスでお届け!

一度は耳にしたことのあるこの名曲から聴いてみよう♪

「あ、この曲知ってる!」な名曲も、一度最初から最後までじっくり聴いてみると、新しい発見があるかもしれませんよ。

ベートーヴェン

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
(1770年~1827年・ドイツ)



後年は難聴を患いながらも数々の名曲を生み出した。

交響曲 第5番 短調「運命」
「ジャジャジャーン」は、「運命の扉を叩く音」なんだそうです。

チャイコフスキー

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
(1840年~1893年・ロシア)



繊細で精神的に弱い部分をもつが、創作力は旺盛で数々の名作を残した。

白鳥の湖
生前は評価されず、没後2年目にして日の目を浴び代表作となった名作。

バッハ

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ
(1685年~1750年・ドイツ)



「音楽の父」と呼ばれ、モーツァルトやベートーベンなどもバッハをお手本としていた。

G線上のアリア
バイオリンの4本ある弦のG弦一本だけで弾けるからこの名がついた。

モーツァルト

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト
(1756年~1791年・オーストリア)



3歳から音楽をはじめ、5歳で初めて作曲し、8歳という若さで交響曲を作った。

交響曲第40番第1楽章
35歳でこの世を去る数年前のわずかな月で書き上げた交響曲。



ORC200の6階にある「オークホール」に、約60名の楽団員が集結し練習しています。練習前の和やかなムードも、練習がはじまると本番さながらの緊張感が漂います。



古い時代の音楽が現代に生の音で再現され、正装に身を包んだ凛々しい姿も迫力満点。オーケストラは、目でも耳でも心でも感動できるのが素晴らしい!

関西フィルハーモニー管弦楽団と関わって今年16年目となる、首席指揮者の藤岡幸夫さん。年間40以上の公演で聴衆を魅了し、高い評価を受けています。藤岡さんとクラシックの出会い、子供の頃に両親から聴かされていたというオペラの「椿姫」。なんと子守唄がわりだったといいます。小学4年生の時に初めて自分で買ったレコードもこの「椿姫」。このレコードとの出会いが指揮者への道を決定付けることになりました。「その時聴いたトスカニーニが指揮する『椿姫』は、幼い頃に聴いていたものとは全く別のものだったんです。同じ曲でも、全く違う印象の作品にすることができ、指揮者の力に衝撃を受けました。この時、私は指揮者になろうと決めたのです」

作品に生命力を吹き込み、その素晴らしさを伝える、一度聴きたいと思ってもらえる演奏をするのが指揮者の役目だと、今も努力の毎日。クラシックをもっと多くの人に気軽に楽しんでもらいたいと年に2回、藤岡さんのトーク付コンサート、「Meet the Classic」も開催されています。「クラシックは、ちょっと敷居が高く、堅苦しいと思われるがちですが、その楽曲や作曲者のエピソードを知ると、身近に感じられ、まるで映画を観ているように楽しめますよ」と話し、「音楽のある人生は楽しい」とおっしゃる藤岡さんが笑顔で皆さんに問いかけます…

「音楽はお好きですか？」



©SHIN YAMAGISHI
タクトに魂を込めて指揮する姿は圧巻



チェロ首席奏者の向井航さん(左)
コンサートマスターの岩谷祐之さん(右)



楽団の皆さんと意見交換しながらの
練習風景(オーケストラホールにて)

関西フィルとは 夫婦のような関係です。

首席指揮者 藤岡幸夫

藤岡 幸夫 Sachio Fujioka

1962年東京生まれ。慶応義塾大学文学部卒業、英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業、イギリスで大成功を収め、数多くの賞を受賞。現在は、関西フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者を務め、またBSテレビの音楽番組の司会をするなど、幅広く活躍。

information

華麗なるニューイヤーコンサート! Meet the Classic Vol.30

2015年1月25日(日) 15:00開演(14:30開場) 会場:いづみホール
「男性ソプラノ歌手」岡本知高さんを迎えた、関西フィル新春恒例のコンサート。
J.シュトラウスⅡ:「ワルツ」酒、女、歌」／ブッチーニ:誰も寝てはならぬ ほか

◎無料託児サービス 申込:関西フィル事務局(06-6577-1381) 申込締切1月13日迄
※チケットのプレゼントがあります。(P11参照)
【ご予約・お問い合わせ】 ●関西フィル(06-6577-1381)

藤岡幸夫&関西フィルの新音楽番組が好評放送中! 「エンター・ザ・ミュージック〜音楽はお好きですか?〜」

BSジャパン(7ch) 毎週火曜 23:00~23:30

今までクラシックを聴いて来なかった人が「この音楽って、なに?」と興味を持ってほしいと作られた誰もが楽しめる音楽番組。クラシックのみならずジャズやポップスにも光を当て、藤岡さんが司会を務めます。なんと、収録はオークホールでもされているんだそうですよ。

半世紀の歴史が語る実力派

神戸の中華街で修業した父が店を構えて51年。今は2代目が味を引き継ぎ、中華の王道メニューが並ぶ。人気は手羽唐揚げに、にんにく・生姜・ねぎたっぷりの自家製中華風ボン酢がかかった「油淋鶏(¥850)」。「サクッとジューシーな鶏手羽が、あっさりピリリのタレと相性◎。昔と変わらず、券売機で食券を買うスタイルも懐かし歴史を感じマス。



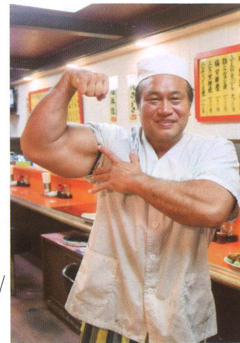
共栄軒

06-6583-2941
港南区岡元町 3-11-29
11:30~14:00
17:00~21:00
日曜休み(12/31~1/4休み)

どのメニューを
食べてもウマイ!!



ウイオリン担当
友永さんオススメ!



店主の高光さんはパワーリフティング(ベンチプレス)アジア大会で優勝経験も。このたくましい腕から、美味しい料理が生まれる。



旬の味が自慢!の海鮮居酒屋

愛媛県・八幡浜から直送された獲れたてで新鮮な魚をお造り・焼き・煮物など素材を生かした調理法で味わえる。地酒も常時20~30種類が揃い、日本酒好きにもウレシイ。魚以外に野菜メニューもあり、ヘルシーで美味しいお店です。ランチもあり。



魚のいいお店
磯野家

06-6577-1600
港区弁天1-2-2
オーケ2番街3階
11:00~14:00
17:00~23:00
(12/31~1/2休み)

忘・新年会に利用します!
魚が美味しいんです!



フルート・ピッコロ担当
虎谷さんオススメ!



ギャラリー&ショップ
パティオーク

06-6577-1272
港区弁天1-2-1
ホテル大阪ベイタワー2階
10:30~19:30
(12/31~1/3休み)



オーボエ担当
佛田さんオススメ!

猫好き必見! 猫グッズ専門店

アクセサリから小物・バック・食器・文具まで、可愛いだけでなく実用性充分な猫の雑貨がたくさん!どの猫ちゃんの表情も見ているだけで癒されます♡ 1月4日は、数量限定で福袋ならぬ「猫袋(¥5,000)」も販売されるそうですよ。

ジャズ好きの作家・松下一登さんの作品。猫のオーケストラ柄財布 ¥21,600。付箋 ¥410 など文具も人気です!



どれも可愛いけど、ねこ好きにはたまりません♡

楽団員港区オススメ店。

練習やコンサートで港区を訪れる楽団員の皆さんに、イチオシお気に入りの店を教えてくださいました。